

□議員名：山田伸幸

1 平日夜間診療所の運営について

論点	平日夜間診療所に必要な薬剤が少なく手当ができないことや検査しようにも設備がない。担当する医師から市民病院内の診療室を使わせてもらえないかと要望が上がっているが、できないのか。
回答	両医師会と協議しているところである。

論点	市民病院としては平日夜間診療所を病院内に置くことについてはどうなのか。
回答	市民病院の役割は、二次救急を担っているので一次救急については市民病院では担うことはできない。

論点	一次救急で、検査なり薬剤投与などができれば、二次救急に回さなくても済む場合が増えてくるのではないのか。市民病院の診療室を平日夜間診療で使わせることができれば、問題はかなり解決するように思わないのか。
回答	市長答弁 担当課に荷を負わせすぎた。任期期間中に、市長と病院局長、両医師会の担当の医師に来ていただいて協議していきたい。

2 子どもの貧困対策について

論点	本市の子どもへの生活支援対策は、実態に即して十分行われているのか。
回答	本市の子ども貧困率が18.3%で全国平均よりも多くなっている。また、子育て世帯への就学援助については全国平均約15%だが、本市では約25%と高くなっている。昨年度からは入学時の物品購入に必要な資金の貸し付けも行っている。

論点	市長は以前から退職時に退職金を育英資金にという考えを示していたが、任期切れ間近となったがどうされるのか。
回答	退職手当を育英会方式で活用する件については、企業や多くの方にも協力していただき、多くの資金をつくっていくことは考えてきた。しかし、根気と時間のいる作業ですぐにと言うわけにはいかない。